

2015(平成27)年度

札幌学院大学経済学部公開講座 経済学特別講義A '15年9月25日金~'16年1月22日金 [全15回]

総合  
テーマ

# 北海道：現在と将来

北海道はいま地域経済の停滞、少子高齢化に伴う人口減少によりいろいろな問題を抱えています。この講義では北海道の現状を産業、市町村の状況、各地のまちづくりなどの観点から講師の方にお話いただき、北海道の今後のあり方を考える契機とします。

本講座は社会人の教養講座として位置づけられています。最初の講義では、本講座のねらいと簡単な概要を説明します。

その後は、社会人や研究者からのリレー講義となります。最初の講義

では人口減少に直面する北海道の現状と今後のあり方について講義していただきます。そののちの講義は大まかに三つの分野に分かれます。第一は、現在の北海道の市町村の現状と取り組み、第二に、北海道の各産業の現状とその中での企業の活動、第三に、各地で行われているまちづくりの活動についてです。ただこれらの分野は互いに関連しており、一人の講師が二つの分野に関連した講義をすることもあります。

最後の講義で、これらの講義のまとめをして締めくくります。

受講料無料／事前申込不要 受講ご希望の方は、当日直接会場までお越しください。

第1回 本特別講義の進め方とねらい

9月25日

平澤 亨輔 ●札幌学院大学経済学部 教授

第2回 人口減少時代における地域経済戦略を考える

10月2日

小磯 修二 ●北海道大学公共政策大学院 教授

第3回 新しい花の流通と起業について

10月9日

鈴木 幹也 ●株式会社ブランディア 代表取締役

第4回 下川町の環境未来都市・地方創生について

10月16日

春日 隆司 ●下川町議会議員

第5回 企業繁栄の法則 ―経験から学んだこと―

10月23日

朝倉 幹雄 ●SOC株式会社 代表取締役会長

第6回 地域を支えるソーシャルビジネスの実践

10月30日

中島 則裕 ●コープさっぽろ 専務理事

第7回 地域密着の事業型NPO、自然学校というシゴトとカタチ

11月6日

高木 晴光 ●NPO法人ねおす 理事長

第8回 「日本で最も美しい村」美瑛町のまちづくり

11月13日

浜田 哲 ●美瑛町長

第9回 らんこし米のブランド化について

11月20日

宮谷内留雄 ●蘭越町長

第10回 北海道漁業の現状と今後の課題

11月27日

佐藤 忠則 ●北海道漁業協同組合連合会 代表理事専務

第11回 観光地域づくりによる北海道の活性化

12月4日

鈴木宏一郎 ●北海道宝島旅行社 代表取締役社長

第12回 北海道の農業と農協

12月11日

坂下 明彦 ●北海道大学大学院農学研究院 教授

第13回 札幌市の現状と課題

12月18日

吉田 博 ●札幌市オンブズマン 事務局次長

第14回 北海道の製造業

1月8日

坂口 収 ●北洋銀行地域産業支援部 特任審議役

第15回 まとめ

1月22日

平澤 亨輔 ●札幌学院大学経済学部 教授

会場／札幌学院大学D202教室 (D館2階)

講義時間／13:10~14:40

コーディネーター／平澤 亨輔 (札幌学院大学経済学部 教授)

主催／札幌学院大学経済学部、えべつ市民カレッジ、道民カレッジ連携講座

●お問い合わせ先

札幌学院大学教育支援課 (経済学部係)

〒069-8555 江別市文京台11番地

☎011-386-8111 (内線3212、3222)

[URL]http://www.sgu.ac.jp

2015  
(平成27年度)

# 札幌学院大学経済学部 公開講座 経済学特別講義A 講師紹介

第1回 (9月25日) 平澤 亨輔 ●札幌学院大学経済学部教授

## 本特別講義の進め方とねらい

長野県出身。北海道大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。経済学修士。1984年札幌学院大学商学部助教授。1999年札幌学院大学経済学部教授。現在に至る。専門は都市経済論。

第2回 (10月2日) 小磯 修二 ●北海道大学公共政策大学院教授

## 人口減少時代における地域経済戦略を考える

大阪市出身。香川県立高松高校。京都大学法学部。旧北海道開発庁、国土庁（現国土交通省）等を経て、1999年に釧路公立大学教授、地域経済研究センター長。2008年から釧路公立大学学長。2012年9月から北海道大学公共政策大学院特任教授。地域政策研究の分野において、実践的な研究プロジェクトを数多く実施。また、中央アジア地域等で国際貢献活動にも従事。専門は地域開発政策、地域経済。公職として、国土審議会専門委員、北海道国土強靱化計画有識者会議議長、北海道の人口減少問題に関する有識者会議座長など。主な著書は、「地域自立の産業政策」、「戦後北海道開発の軌跡」、「地方が輝くために」、「コモンズ 地域の再生と創造」、「地域とともに生きる建設業」など。

第3回 (10月9日) 鈴木 幹也 ●株式会社スランディア代表取締役

## 新しい花の流通と起業について

小樽市出身。小樽工業高校。1983年札幌花き園芸入社、花のセリ人となる。2007年株式会社スランディア設立。2012年株式会社苦花設立。2015年株式会社カラル設立。スランディアグループ年商25億円。2015年北の起業家優秀賞受賞。花の国日本協議会理事。北海道拓殖短期大学前非常勤講師。趣味はゴルフ、温泉。

第4回 (10月16日) 春日 隆司 ●下川町議会議員

## 下川町の環境未来都市・地方創生について

北海道紋別郡西興部村出身。拓殖大学政経学部卒業。下川町勤務。下川町開発審議室。北海道開発局農業水産部（出向）。アメリカモンタナ州立大学（留学）。下川町企画振興課長補佐。財団法人下川町ふるさと開発振興公社（出向）。下川町地域振興課長。下川町環境未来都市推進本部長。現在～下川町議会総務産業常任委員長。NPO法人しまか森林未来研究所研究員。内閣府の地域活性化伝道師。

第5回 (10月23日) 朝倉 幹雄 ●SOC株式会社代表取締役会長

## 企業繁栄の法則－経験から学んだこと－

福島県白河郡出身。札幌南高校定時制卒業。日本大学理工学部数学科Ⅱ部卒業。1977年9月札幌オフィスコンピュータ創業。1979年4月同前設立、代表取締役社長に就任。2006年SOC株式会社に社名変更。2001年9月SOCパートナーズ㈱代表取締役会長就任。現在特別相談役。2005年4月SOC総研㈱設立。代表取締役会長就任。現在取締役。2006年4月SOC経倫㈱設立、代表取締役会長就任。2008年1月SOCソリューションズ㈱設立、代表取締役会長就任。2011年9月SOCブルーイング㈱代表取締役会長。2015年5月SOC㈱代表取締役会長に就任。趣味：ゴルフ・碁。

第6回 (10月30日) 中島 則裕 ●コープさっぽろ専務理事

## 地域を支えるソーシャルビジネスの実践

北海道寿都郡黒松内町字白井川出身。1982年法政大学社会学部卒業。1982年生活協同組合コープさっぽろ入協。2002年生活協同組合コープさっぽろ常勤理事、協同購入本部長。2007年北海道生活協同組合連合会理事。2008年生活協同組合コープさっぽろ専務理事。2008年日本コープ共済生活協同組合連合会理事。2014年生活協同組合コープさっぽろ専務理事。

第7回 (11月6日) 高木 晴光 ●NPO法人おねす理事長

## 地域密着の事業型NPO、自然学校というシゴトとカタチ

千葉県船橋市出身。北海道大学農学部農学工学科卒業。1980～1988年㈱札幌オーバースズコンサルタント（貿易商）。1988～1991年㈱九増グループ（観光・不動産開発）。1991～1997年㈱社会教育総合研究所（社会教育事業）。1992年同所の関連事業として北海道自然体験学校NEOS設立。1997年北海道自然体験学校NEOSを独立。（99年NPO法人登記、現在に至る）。1999～黒松内町おねすの森自然学校の代表として自然学校の運営、人材育成の場づくり、2003-04三重県宮川村・山形県西川町にて自然学校、エコツーリズムのしくみづくり、2006知床発・広域的ツーリズム推進業務（北海道）、2007～（仮）そうや自然体験学校準備事業（中頓別町）、2008-10農村活性化人材育成派遣支援モデル事業（農水省）、2008-09洞爺湖、支笏湖地域における環境体験プログラム策定事業（環境省）、2010-12内閣府基金事業社会雇用創造就業（内閣府、北海道地域再生コンソーシアム）、2011～岩手県釜石被災地支援活動三陸ひとつなぎ自然学校設立。（財）北海道環境財団評議員。（N）日本エコツーリズムセンター世話人、黒松内おねすの森自然学校運営委員長。（N）北海道NPOサポートセンター理事、NPO黒松事業者組合理事長等。

第8回 (11月13日) 浜田 哲 ●美瑛町長

## 「日本で最も美しい村」美瑛町のまちづくり

北海道上川郡美瑛町出身。秋田大学土木工学部卒業。1976年（株）丸善建設入社。1983年（株）丸善建設常務取締役。1990年（株）浜田製作所常務取締役。1991年美瑛町議会議員（～1999年2期）。1999年美瑛町長（～現在5期目）。主な役職「日本で最も美しい村」連合会長、北海道町村会副会長、上川町村会会長。趣味：ツーリング。

第9回 (11月20日) 宮谷内留雄 ●蘭越町長

## らんこし米のブランド化について

蘭越町出身。北海道立俱知安農業高等学校農業科卒業。産業能率短期大学卒業。自治大学校第2部課程第66期修了。1957年4月蘭越町役場採用。1980年2月総務課長。1988年8月助役。1988年11月蘭越町長当選現在7期目。後志町村会長、後志広域連合長、北海道道路整備促進協会会長、北海道公立文教施設整備期成会会長、北海道市町村職員退職手当組合組合長、北海道土地改良事業団体連合会副会長、北海道町村会副会長、国土審議会専門委員、北海道総合開発委員会委員。趣味：読書、釣り。

第10回 (11月27日) 佐藤 忠則 ●北海道漁業協同組合連合会代表理事専務

## 北海道漁業の現状と今後の課題

北海道雄武町出身。東京理科大学理学部応用化学科卒業。1978年4月北海道漁業協同組合連合会入会。2004年7月同東京支店部長。2007年7月同参事・函館支店長。2010年6月同代表理事専務。2013年6月同代表理事専務。現在に至る。

第11回 (12月4日) 鈴木宏一郎 ●北海道宝島旅行社代表取締役社長

## 観光地域づくりによる北海道の活性化

福岡県北九州市出身。兵庫県立西宮高校卒業。東北大学法学部卒業。小樽商科大学大学院商学研究科修了。1988年㈱リクルート入社、全国各地勤務の後、2005年にフレックス定年退職して北海道へIターン。2007年4月に北海道の体験型・滞在型・交流型観光の振興に取り組む北海道宝島旅行社設立。2010年6月に地域づくり支援会社（合）北海道観光まちづくりセンター設立。2010年12月に旅行子会社㈱北海道宝島トラベル（北海道知事登録旅行業第2-597号・社）全国旅行業協会正会員設立。全道各地の着地型観光振興、インバウンド富裕層個人自由旅行者へのオーダーメイドツアーの提供等による外貨獲得、雇用創出を目指す「観光地域づくり」の展開のために奮闘・努力中。北海道グリーンツーリズムネットワーク事務局長。観光庁「観光地域づくり」アドバイザー。趣味はマラソン。

第12回 (12月11日) 坂下 明彦 ●北海道大学大学院農学研究院教授

## 北海道の農業と農協

北海道三笠市出身。1977年3月北海道大学農学部卒業。1984年3月北海道大学大学院農学研究科博士後期課程単位取得。1990年3月農学博士（北海道大学）。1984年4月北海道大学農学部助手。1990年8月北海道大学農学部助教授。2003年4月北海道大学大学院農学研究科教授。2006年4月北海道大学大学院農学研究院教授。現在に至る。専門は協同組合学、農村社会史、アジア農業論。主な著書に、「中農層形成の論理と形態」（御茶の水書房、1992年）、「中国東北における家族経営の再生と農村組織化」（御茶の水書房、1999年）、「北海道の農地問題」（筑波書房、1999年、編著）、「中国野菜企業の輸出戦略－残留農薬事件の衝撃と克服過程－」（筑波書房、2006年、編著）、「北海道農業の構造変動と地帯構成」（北大出版会、2006年、共著）、「地域農業の底力－農協の可能性を拓く支援システム」（北海道協同組合通信社、2009年、編著）、「日韓地域農業論への接近」（筑波書房、2013年、編著）など。

第13回 (12月18日) 吉田 博 ●札幌市オンスズマン事務局次長

## 札幌市の現状と課題

札幌市出身。北海道大学法学部法律学科卒業。1979年4月札幌市役所入庁、東区配属。1984年6月財政局財政部財政課。1990年4月北海道銀行研修派遣。2001年4月総務局都市経営調査担当課長。2003年4月東区保健福祉サービス課長。2005年4月子ども未来局子育て支援課長。2008年4月西区市民部地域振興課長。2010年4月経済局農政部農政課長。2013年4月北区市民部総務企画課長。2015年4月総務局オンスズマン事務局次長。2006年4月～2009年3月札幌大学法学部非常勤講師。

第14回 (1月8日) 坂口 収 ●北洋銀行地域産業支援部特任審議役

## 北海道の製造業

和歌山県出身。東北大学法学部（1975年3月卒業）。北海道大学大学院経済学研究科修士課程（1998年3月修了）。1975年4月北海道入庁。以後経済分野を担当。2006年経済部立地推進局長。2008年上川支庁長。2010年経済部長。2012年3月北海道退職。2012年4月北洋銀行入行（国際部審議役）。2014年4月地域産業支援部審議役。

第15回 (1月22日) 平澤 亨輔 ●札幌学院大学経済学部教授

## まとめ

プロフィールについては、第1回を参照してください。

受講料は無料で、どなたでも受講できます。人数に制限はありません。事前申込は必要ありませんので、当日直接会場にお越しください。



# 札幌学院大学